

# 【未来の担い手の育成】を目的とした現場見学会

「地域インフラ」2017  
サポートプラン関東

工事名：H29桐生管内堤防法面補修他工事  
参加者：桐生工業高校 建設科 2年生 19名（女性4名）  
開催日：平成30年1月31日（水）  
主催者：石川建設株式会社

地元高校生を対象に建設業への  
関心・興味を深めていただくこと  
を目的とした現場見学会を開催  
しました。

## 参加学生からのコメント

- ・新しい技術がたくさん入ってて、  
どんどん作業がしやすくなっている  
ことが、すごいと思いました。
- ・自分も最先端の技術を使うことの  
できる仕事に就きたいと思います。
- ・自分たちの進路について、今回やっ  
たことを参考にして、決めていきたく  
なっていました。
- ・コンピューターがほほやってくれて  
今の技術はすごいと思った。建設業界  
のイメージが変わった。

## MCバックホウ試乗体験



## GNSS測量機体験



## 3D CAD 点群処理について



当社はICTを積極的  
に活用し、地方建設会  
社としての働き方改革  
に取り組んでおります。  
いままでの建設業を  
一新させる明るい未来  
を、学生の皆さんと共  
有できたことは、大変  
意義があったと思いま  
す。



石川建設株式会社  
代表取締役 石川雅之

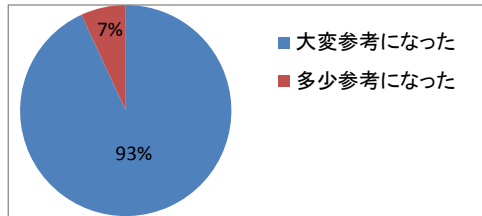
国土交通省  
関東地方整備局



渡良瀬川河川事務所

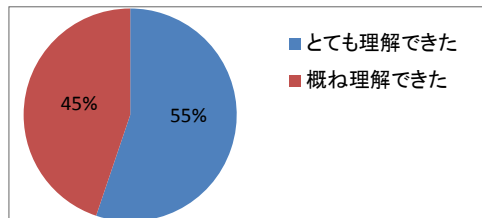
【1】本日の担い手の育成を目的とした現場見学会(全体的な内容)について感想をお聞かせください。

大変参考になった	27
多少参考になった	2
参考にならなかった	0
その他	0



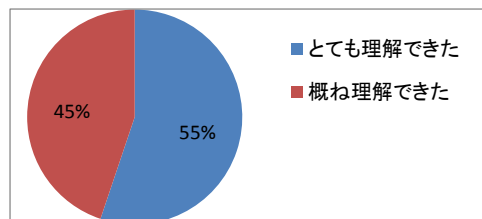
【2】本日のマシンコントロールバックホウの操作方法・機能はご理解いただけましたか？

とても理解できた	16
概ね理解できた	13
一部理解できなかった	0
理解できなかった	0



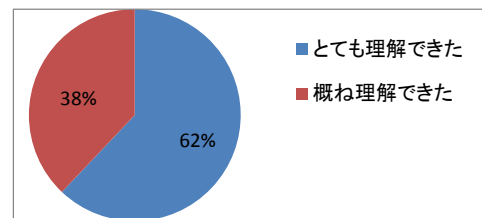
【3】3次元設計データ・3Dスキャナーによる点群データの講習についてご理解はいただけましたか？

とても理解できた	16
概ね理解できた	13
一部理解できなかった	0
理解できなかった	0



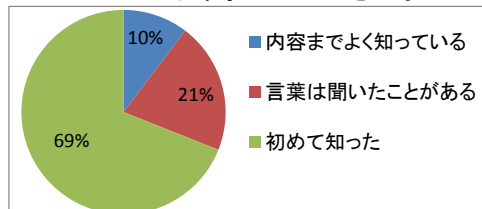
【4】GNSS測量機・現場端末システムの現場での操作方法・利便性についてご理解いただけましたか？

とても理解できた	18
概ね理解できた	11
一部理解できなかった	0
理解できなかった	0



【5】現在、国土交通省が進めるi-Constructionについてお聞かせください。

内容までよく知っている	3
言葉は聞いたことがある	6
初めて知った	20



開催日：平成30年1月31日（水）

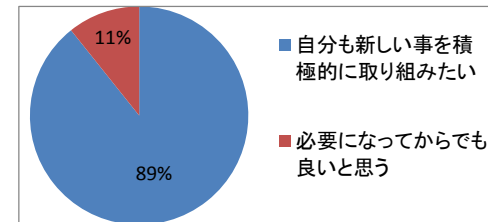
参加者：桐生工業高校建設科 2年生19名（女性4名）

工事名：H29桐生管内堤防法面補修他工事

主催者：石川建設株式会社

【6】今回のような国が進める最新技術を活用する事についてお聞かせください。

自分も新しい事を積極的に取り組みたい	25
必要になってからでも良いと思う	3



【7】次回開催時にやってもらいたいテーマや、皆さんが社会人になり建設業に従事するにあたり疑問点や心配な事がありましたら遠慮なくお聞かせください。

- ・ドローンの飛んでいる姿が見たかった
- ・女子の採用はありますか？
- ・女子が建設業についたらどんな仕事ができますか？
- ・女子は何人くらいいますか？
- ・就職したら色々心配なんですけどだいじょうぶですか？
- ・いままでに新人の人で機械を壊した人がいるか？
- ・自分もこういう仕事につきたいと思う
- ・完成したら見てみたいです。女子もたくさん採用されているのか気になりました。
- ・新しい技術がどんどん入っててどんどん作業がしやすくなってすごいいいと思いました。
- ・いろいろな最新技術が使われていて、すごかったです。
- ・女性の採用があるかが心配です。
- ・自分も最先端の技術を使うことのできる仕事に就きたいと思います。
- ・高速道路の工事があつたら是非見学したいです。
- ・もっといろいろな機械をさわってみたいです。
- ・すすんで新しいものを使い、地域に貢献したいです。
- ・女子の採用はどのくらいありますか？
- ・今度自分たちが進路を決めていけないといけなくて今回やったことを参考にしてやりたいなって思いました。
- ・もっと最新の技術を使った事をどんどん体験していきたい。

【先生のコメント】

教員として、今回のような最新技術について、どこまでどのように教えたらよいか悩むところでした。実際の現場を見させて頂き、教員も含め生徒にも良い刺激になり、こういう機会を定期的に生徒に見せることが出来れば、現場に出たいと進路を決める生徒も、もっと多くなると思いました。